

# 取り付け

1 OptiMate O-46 パネルマウント 12V/24V 電源ソケット/レセプタクルには、次のコンポーネントが含まれています -

a ソケット/DCレセプタクルは、ゴムキャップを含むゴムワッシャー付きの角フランジにあらかじめ取り付けられています。ソケット/DC レセプタクルの仕様: ラッチ/ロック\* DC 電源レセプタクル、ANSI/SAE J563 に準拠した内径 21.4 mm。自動車、船舶、パワー スポーツ車両に使用されます。(注: 電源コンセントはフランジに取り付けたままにしておきます)。

\*適切な 12V プラグを所定の位置にラッチして保持します。OptiMate アクセサリ充電アダプタ O-02 または O-22

b バッテリー接続ケーブルセット: 長さ=100cm。15AのATOヒューズにより、偶発的なショートサーキットや過負荷から保護されています。丸端子はM8、M10のデュアルサイズです (タブを折り曲げ取り外すとM10になります)。

c ボルト4個 (ワッシャーヘッド、4x16mm)、フラットワッシャー4個、ロックナット4個は、充電ポートのフランジをパネルに取り付けるためのものです。

2 必要な工具 (含まれていません):

a 電動ドリル

b  $\varnothing 28\text{mm} / 1-1/8"$  のホールソー (パネル材料タイプに適しています) 代替ホールソーのサイズ:  $\varnothing 32\text{mm} / 1-1/4"$

c 4mmのドリル (パネル材料タイプに適しています)

d 2.5mmの六角レンチ。

e 7mmの六角レンチ。

## 準備:

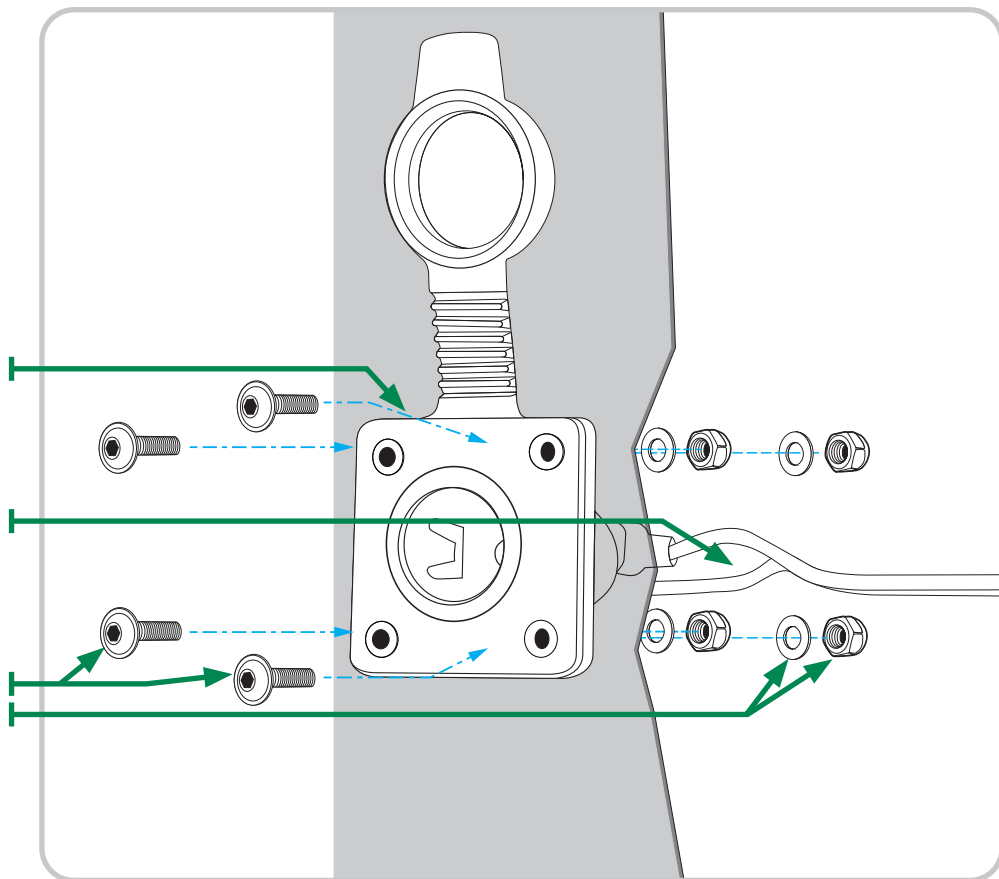
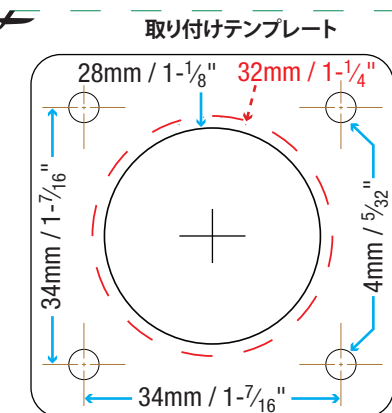
3 ソケット付きフランジを取り付けるのに適したフラットパネル表面を見つけてます。

**重要:** 付属されているバッテリー接続ケーブルの長さは100cmです。バッテリーターミナルの両方への接続が容易であり、ポートからバッテリーへの安全な配線が可能である場所を選択してください。車両のエンジン付近 (ファン、プーリー、ベルト) または動くボディパーツ (フード/ボンネットのヒンジやラッチ) および熱を発生させるパーツ付近 (排気、マニホールド) から離して設置してください。

4 取り付けテンプレート (切り抜き) がこのシートに含まれています。(重要: 1対1のサイズで印刷してください。)

5 電源ソケット/レセプタクルを取り付ける位置にテンプレートを配置します

6  $28\text{mm} / 1-1/8"$  の穴と4つの4mmのバックプレート取り付け穴の中心位置をマークします。ヒント: バックプレート取り付けボルトがパネルの裏側からアクセスできるようにし、付属のワッシャーとロックナットを受けることが出来るか確認し作業を進めてください。



7 **メインホールのドリル:**  $28\text{mm} / 1-1/8"$  のホールソーを使用して、パネルに穴をあけます。ヒント: 位置の精度を高める為に、ホールソーのガイドビットよりわずかに小さいパイロットホールをまずドリルし、その後ホールソーで続けます。ドリル後、穴側面のバリ等をきれいに処理して下さい。

8 下記の2点を確認してください:

a ソケットとフランジは穴にフィットし、パネルの前面/外側に面一に取り付けられます。

b フランジの4つの取り付け穴がマーキングと一致することを確認します。必要に応じてマーキングを調整します。

9 4mmのビットを使用して、4つのバックプレート取り付け穴をドリルします。

## 取り付け:

10 フランジ:

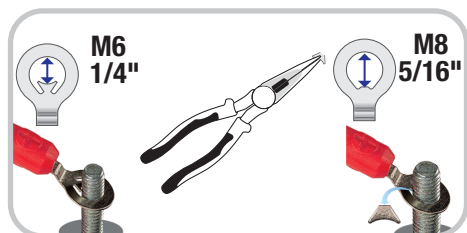
a フランジを4つの取り付け穴の上に位置させます。六角ボルトを穴に通します。重要: まだ付属の鋼製ワッシャーは使用しないでください。

b パネルの後ろ/内側の各ボルトにはまずスチールワッシャー、次にロックナットを取り付けます。ロックナットを手で位置に固定してから締めます。すべてのボルト (2.5mm六角レンチ) とナット (7mm六角レンチ) を締め、フランジがパネルにしっかりと収まるようにします。

過度に締めすぎないように注意してください。

11 バッテリーケーブルセット:

a 赤色のプラス (+) リング端子を、バッテリーのプラス (+) ポストに固定されているプラス (+) クランプ端子に取り付けます。黒色のマイナス (-) リング端子を、バッテリーのマイナス (-) ポスト



に固定されているマイナス (-) クランプ端子に取り付けます。ヒント: リング端子のデフォルトのサイズは M6 / 1/4 インチですが、下図のように内側の三角形のスペーサーを取り外すことで M8 / 5/16 インチに調整できます。

b ケーブルがエンジン付近 (ファン、プーリー、ベルト)、および熱を発生させる部品付近 (排気) から遠ざかるように配線されていることを確認します。ヒント: 必要に応じてタイラップ/ジップタイで確実に固定します (注意: タイラップ/ジップタイは含まれていません)。ポートの背後まで確実に固定します。重要: ケーブルを固定する前に土の端子を接続してください。赤い正 (+) スペード端子をポートの後部にある+ (正) でマークされたブレードに差し込み、黒い負 (-) スペード端子をポートの後部にある負 (-) ブレードに差し込みます。

## 接続:

12 これで、ソケットは充電または電力供給の準備が整いました。標準の 12V コンセント プラグを受け入れるか、OptiMate の充電アダプタ P/N O-02、O-12、または O-22 を使用します。注: 部品 O-46KIT には、OptiMate バッテリー充電器の出力コードに接続する O-22 充電アダプターが含まれています。

